

令和 3 年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標 1】 子どもがスポーツを楽しむことができる

達成指標	放課後や休日に、運動部やスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする児童・生徒の増加	策定時（H29）	小学 5 年男子 81.1%	現状値（R3）	小学 5 年男子 78.5%（△2.6%）
			小学 5 年女子 76.5%		小学 5 年女子 73.7%（△2.8%）
			中学 2 年男子 69.4%		中学 2 年男子 67.9%（△1.5%）
			中学 2 年女子 48.4%		中学 2 年女子 60.1%（ 11.7%）

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定し、スポーツ庁が毎年実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」から抽出している。数値は、達成指標において「よくある・時々ある児童・生徒の割合」の合計値。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
1-①	遊びを通したスポーツ習慣づくり	小学生対象のニュースポーツ体験教室の開催	財団主催の学童等を対象としたニュースポーツ普及事業や東海村ニュースポーツクラブによる小学校での体験教室が中止。	小学校や地域のイベント等における体験教室開催の支援を継続していく。交流館事業(Tキャン)でのプログラム化を検討する。	検討	実施	継続	継続	継続
		未就学児を対象とした「アクティブ・チャイルド・プログラム」の実施	青少年担当主催のイベント（がっちゃんこ祭）でACPを実施予定（3/6）。	スポフェス、やったん祭、Tキャン等様々なイベントと連携してACPを実施していく。財団やSCスマイルTOKAIによる体験教室等の開催も検討する。	一部実施	継続	継続	継続	継続
		子ども向け運動プログラムの普及を目的とした保護者・幼稚園教諭・保育士等を対象とする講習会等の開催	村スポ少本部主催でスポ少年団指導者等を対象としたスタートコーチ養成講習会を実施。※アクティブチャイルド講習会と隔年実施。	財団や村スポーツ協会等の主催でスポーツ少年団指導者、幼稚園・保育所関係者、スポーツ推進委員等を対象に、研修会を実施する。	—	実施	継続	継続	継続
1-②	親子でのスポーツ機会の充実	親子参加型の各種スポーツ教室の開催	スポフェスやチャレンジスクールで親子参加可能なメニューを実施。	スポフェスやチャレンジスクール等で、親子参加のメニューを継続して実施する。	—	実施	継続	継続	継続
		総合体育大会等における親子参加種目の新設	スポフェスで親子参加型のメニューを実施（体力測定、ヨガ、ホッケー、ノルディックウォーキング、イモゾーリレー等）。	スポフェス等で親子参加のメニューを継続して実施する。	—	実施	継続	継続	継続
		親子スポーツ day の検討	親子（3世代）で参加できるスポーツイベント「スポーツフェスタ TOKAI2021」を開催。	親子（3世代）でスポーツを楽しめるイベント（スポフェス）を継続して実施する。	—	一部実施	継続	継続	継続
1-③	学校におけるスポーツ活動への支援	「いばらきスクールサポート事業」等の外部講師の活用	年度当初に茨城県水戸生涯学習センターが「いばらきスクールサポート事業」の案内パンフレットを小中学校に配付。	校長会等でサポート事業の活用方法等を周知し、利用の促進を図る。夢先生等の制度を活用する。	継続	継続	継続	継続	継続
		「地域スポーツ指導者学校派遣事業」の拡充	【第 1 期(4-8 月)】 103 回/159 人 【第 2 期(9-12 月)】 108 回/108 人 【R2】 ①175 回/278 人 ②96 回/146 人	学校のニーズに合わせ、派遣可能な種目や指導者数の拡充を検討する。運動部活動の地域移行に併せて事業内容を整理する。	実施	継続	継続	継続	継続
		トップアスリート等による出前授業、運動部活動技術指導の実施	東海中バスケ部での運動部活動指導員を継続（R1～）。	運動部活動指導員を継続して実施。県央地区自治体が連携し、プロスポーツによる地域活性化イベントを展開予定（R4～）。	一部実施	継続	継続	継続	継続
		スポーツ関係団体との連携による運動部活動のない種目への活動支援	運動部活動の地域移行に向けた協議を開始。学校・財団との意見交換や県担当者による説明会。	運動部活動の地域移行に向けた協議の中で、中学生の理想的なスポーツ環境及び支援の在り方について継続して検討を進める。	—	—	検討	検討	検討

令和 3 年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標 2】 多くの人がスポーツに親しむことができる

達成指標	①余暇時間におけるスポーツ実施率の増加 ②きっかけがないためにスポーツを行っていない人の減少 ③スポーツボランティア経験者・希望者の増加	現状値 (H29)	① 13.8% ② 29.7% ③ 17.7%
------	--	--------------	-------------------------------

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定したもので、現状値は平成 2 9 年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査の結果によるもの。次は次期計画策定時（2023 年度）に測定。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
2-①	誰でもスポーツを 楽しめるきっかけ づくり	総合体育大会の開催日に合わせたニュース スポーツ教室の開催	ニューススポーツ体験もできる「スポーツフ ェスタ TOKAI2021」を開催（11/23）。	「スポフェス」において継続してニュース スポーツ体験ブースを開催する。財団とスポ 推の共同によるニューススポーツ（イモゾー リレー含む）体験事業を展開する。	—	—	検討	<u>実施</u>	継続
		妊婦，子育て中の母親，高齢者，障がい者 等を対象としたスポーツ教室の開催	スポフェスにおいて高齢福祉課や障がい福 祉課等とも連携し，高齢者や障がい者等も 参加可能なブース（ボッチャ等）を設置。	SC スマイル TOKAI やスポーツ推進委員， 健康増進課等と連携し，誰でも楽しんで参 加できるメニューを実施する。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	継続
		阿漕ヶ浦公園やコミセンを会場とした定期的 なスポーツイベントの実施	R3 は取組なし。※東海高校で予定していた ホッケークリニックはコロナの影響で中 止。	財団等と協議し，阿漕ヶ浦公園やコミセン 等を活用したスポーツ教室の事業展開を検 討する。	—	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続
		スポーツ施設へのインストラクター等の配 置	総合体育館トレーニングルームでトレー ニング基礎講座を開催（全 10 回）。	常駐インストラクターの配置ではなく，利 用者ニーズを踏まえながら適宜講座を開催 する。	検討	検討	<u>一部実施</u>	継続	継続
		プロスポーツ応援観戦ツアー等の開催	水戸ホーリーホックでホームタウン DAY （優待チケットでの観戦可）を実施。	近隣自治体と連携し，プロスポーツ等によ る地域活性化事業を展開予定（R4～）。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	継続
2-②	多様なスポーツ人 材の育成・確保	実技指導者の指導力向上研修会等の開催	村スポ少年団主催（県スポ少年団等との共 催）により，スタートコーチ養成講習会を 開催（11/20）。	大塚製薬との包括連携協定を活用し，スポ ーツ分野で専門的知見を有する大塚製薬と 連携した講習会の開催も検討する。	<u>実施</u>	継続	継続	継続	継続
		「レクリエーションインストラクター」養 成制度の創設	既存制度の情報収集。スポーツ少年団指導 者講習費用の支援を検討。	県等で実施している指導員養成制度を活用 （情報提供）し，村内の指導者を増やす。	—	—	検討	検討	検討
		2019 年茨城国体を契機としたスポーツボラ ンティア登録制度の新設	スポフェスで体育協会(バレー連盟)や高校 生会のボランティアを活用。	スポフェス等のスポーツ事業において，ボ ランティアの活用を積極的に行う。	—	<u>実施</u>	継続	継続	継続
		スポーツ大会出場助成金制度等の活用促進	全国大会出場による奨励金支給：8 名 （R4.2.18 現在）。4 種目（陸上,卓球,野球, 空手）。	制度の周知を図り，奨励金の活用を促進さ せる。奨励金の支給対象拡充を検討する。	検討	<u>実施</u>	継続	継続	継続
2-③	スポーツ活動団体 への支援	「スポーツ少年団体験教室（スポ少フェ ス）」の開催	財団主催でチャレンジスクールを開催（弓 道,ホッケー,剣道,バドミントン）。※合気道,フットボール は中止。	チャレンジスクールの継続実施のほか，ス ポフェスでのブース設置も検討する。	—	—	<u>一部実施</u>	継続	継続
		スポーツ関係団体を対象としたスポーツ施 設等の事前予約制度の拡充	東海高校での学校開放利用施設の拡充（体 育館・卓球場）について調整し，村スポ少 及び村スポ協会加盟団体の優先利用枠を設 定。	村スポ少及び村スポ協会加盟団体の東海高 校学校開放における優先利用を継続する。 体育館（バスケットボール,バドミントン），研修場（卓 球）。	—	—	—	検討	<u>実施予定</u>
		競技レベル・年代に応じたスポーツ活動団 体育成の仕組みづくりの検討	スマイル TOKAI での陸上アスリートクラ ス（H29～）や競技エアロビクスを継続実 施。運動部活動の地域移行を見据えた受け 皿づくりの検討を開始。	活動者のニーズの把握に努め，SC スマイル TOKAI 等と連携しながら新たなメニューを 展開，新規団体発足の支援を行う。運動部 活動の地域移行に向けた協議を継続。	<u>一部実施</u>	継続	継続	継続	継続

令和 3 年度 東海村スポーツ推進計画の進捗管理シート

【基本目標 3】 まちづくりにつながるスポーツ環境の基盤をつくる

達成指標	スポーツに関心がある人の増加	現状値 (H29)	75.7%
------	----------------	--------------	-------

※ 達成指標は基本目標の明確化を図るために設定したもので、現状値は平成 2 9 年度の東海村スポーツ推進計画策定時に実施したアンケート調査の結果によるもので、数値は達成指標において「大いに関心がある・ある程度関心がある人の割合」の合計値。次は次期計画策定時（2023 年度）に測定。

■施策毎の取組の進捗状況及び今後の予定

施策		主な取組	今年度の取組内容	今後の予定（方向性）	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
3-①	いつでもスポーツ ができる施設環境 の整備	少年野球の利用を見据えた久慈川河川敷ソ フトボール場の改修	H30 に改修済み。	適正かつ効率的な維持管理を行う。	実施	運用	運用	運用	運用
		村内事業所所有のスポーツ施設の活用に向 けた協議・検討	県立東海高校体育施設（体育館・研修場） の活用を検討。学校と協議・調整完了。	学校開放事業において東海高校体育施設を 追加して運用予定（R4～）。	—	—	実施	継続	継続
		久慈川河川敷ニュースポーツ広場の整備	グラウンドの整地を実施（2 月完了）。グラ ンドゴルフ団体による仮使用後、本格運用に 向けた課題整理。	広報とうかい等により運用方法を周知し、 利用開始。	—	—	検討	検討	実施予定
		阿漕ヶ浦公園スポーツ関連施設及び新たな スポーツ施設の整備の検討	R3 は取組なし。（阿漕ヶ浦公園については R2 に都市整備課と協議済）	芝生広場も含めた阿漕ヶ浦公園のスポーツ 施設としての活用について、関係機関と引 き続き協議する。	—	—	実施	継続	継続
3-②	スポーツ関連情報 の収集・発信	スポーツ情報ポータルサイトの構築	R1 に運用開始した「東海村運動・スポー ツ総合情報ページ」の情報を適宜更新。	適宜、情報の更新、コンテンツの内容の見 直しを行う。	—	実施	継続	継続	継続
		「スポーツレポーター」制度の導入	財団が主体となり、スポーツ団体等からの 情報収集（大会結果等）や発信の方法（広 報誌・H P 等）を検討。	財団が主体となり、スポーツ団体等からの 情報収集の仕組みや情報発信の手法を検 討、実施する。	—	—	—	検討	実施予定
		スポーツ年間行事カレンダー等の発行	情報提供すべきイベント等の内容を整理。 ※青少年行事カレンダーは R3 からデータ による情報発信に変更。	財団が主体となり、スポーツ団体等からの 情報収集の仕組みや情報発信の手法を検 討、実施する。	検討	検討	検討	検討	実施予定
3-③	スポーツを通した 多様な連携による まちづくりの展開	庁内の健康増進・子育て・観光セクション と連携した事業の実施	健康増進課と連携したトレーニング講座の 実施（SC スマイル TOKAI 受託事業）。ス ポフェスにおいて健康増進課（PR コーナー 設置）や観光協会（物販）と連携。	スポフェスにおける多様な事業連携につい て、関係機関（健康増進課、子育て支援 課、産業政策課等）と協議する。	実施	継続	継続	継続	継続
		東海まつり、環境フェス等のイベントでの スポーツ体験教室の実施	R3 は取組なし。	より多くのイベントでスポーツ体験教室を 実施する。	実施	継続	継続	継続	継続
		高齢福祉と連携したレクリエーション教室 の開催	高齢者も参加が可能なスポフェスを実施。	スポフェスにおける多様な連携事業につい て、関係機関（社会福祉協議会、高齢者ク ラブ等）と協議する。	—	—	検討	実施	継続
		障がい福祉と連携した障がい者と健常者の 合同スポーツイベントの実施	障がい者とのスポーツ体験の場づくりにも なるスポフェスを開催。パラスポーツ体験 ブース（ボッチャ）を設置。	財団、スポーツ推進委員、障がい福祉課等 と連携し、障がい者向けのスポーツ体験の 場づくりを継続して進める。	—	—	検討	実施	継続
		「“スポーツのまち”東海村」を目指した機 運の醸成	各種取組の推進。村民総参加型のスポーツ イベント「スポーツフェスタ TOKAI」を開 催。	村外者も含めたスポーツ大会の開催等によ り、“スポーツのまち”としてのイメージア ップを進める。スポフェスを軸に連携の幅 を広げ、まちの活性化につなげる。	実施	実施	実施	実施	実施